

エジプトにおける日本式公民館普及と社会教育強化プロジェクト (2021年～2023年)

「公民館」を通じ、社会教育人材を育てる

■実施団体：

特定非営利活動法人1万人井戸端会議

■対象国・地域：

エジプト国カイロ市

■現地カウンターパート

国立アインシャムス大学教育学部

■協力内容：

- ・モデル公民館を自立運営するための体制確立
- ・社会教育活動をコーディネートする人材の育成
- ・公民館運営の財源となる自己事業の立ち上げ
- ・他地域への公民館機能の普及



■団体のこれまでの取り組み：

長年沖縄県内で、地域文化/人材を活かした公民館の運営を行っており、地域課題解決に貢献してきた。

エジプトでは、日本型教育の海外展開を支援する文部科学省の「Edu-Port Japan」公認プロジェクトなどを通じ、モデル公民館の設置や社会教育活動をコーディネートする人材育成の必要性を長年働きかけている。

■事業実施の背景：

エジプトでは、親の経済状況や環境により教育環境に格差が生じている。その解決策の一つとして、社会教育・成人教育の重要性が認識されている。一方、その支援拠点となりうる青少年センター/カルチャーセンター等は階級や男女差でアクセスが制限されており、平等性が担保されているとは言えない状態にある。

エジプト国の課題と成果

課題①

格差是正の対策として、社会教育の重要性に対する理解が深まりつつあるものの、具体的な実践方法・実践の場づくりが不十分である。

成果①

日本式公民館をモデルとしたTaa公民館を拠点に、様々なプログラムが開催され、継続した学びの場が作られた。

課題②

公民館等で社会教育をコーディネートする人材の育成が急務である。

成果②

アインシャムス大学と連携し、コーディネータースキルを学ぶ研修を実施し、37人が研修を修了し、高度なコーディネートを行う人材も2人育成された。

事業の波及効果



社会教育コーディネーター育成過程が 大学の正式なプログラムに！

- ・アインシャムス大学では、本草の根事業で導入した社会教育コーディネーター養成研修を、大学の正式なプログラムとして導入し、研修修了者には証明書を発行する方針で検討を進めている。
- ・エジプト国内の教育関係者に大きな影響力を持つ、アインシャムス大学でプログラム化されることは、同国内での社会教育の普及に大きな力となることが期待される。